

第3次富谷市行政改革基本方針の 取組状況について(令和7年度)

市では、令和6年3月に策定した「第3次富谷市行政改革基本方針」に基づき、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする行政改革に取り組んでいます。このたび、令和7年度の取組状況をまとめましたのでお知らせいたします。

取組状況

基本方針に掲げる取組について、令和8年1月末時点で年度評価を行いました。

基本方針	計画より 進んでいる	計画通り	やや遅れ ている	未着手	計
1 行政経営能力の向上	6	3	0	0	9
2 市民参画と協働の推進	1	1	0	0	2
3 持続可能な財政運営	1	8	0	0	9
合 計	8	12	0	0	20

※やや遅れている、未着手は該当事業なし

【計画より進んでいる項目】…8項目

組織体制の検証、業務効率及び成果を意識した業務の推進、ワークライフバランスの推進、子どもから高齢者まで全ての市民目線に立った行政運営、行政のDXの推進、行政のDXに対応できる職員の育成、市広報紙・ホームページ・SNS等の充実、財政支出の適正化

基本方針 1 行政経営能力の向上

課題に対し、的確かつ迅速に対応できる人材の育成や、効果的な組織の機能強化に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大の局面で現れた意識や行動の変化に対応するため、国が推進するデジタルガバメントに合わせ行政の高度化・効率化を図り、限られた人員での効率的・効果的な行政経営を目指します。また、効率的・効果的な行政経営を行うことで、職員のワークライフバランスの実現を目指します。

【主な取組状況】

項目	内容	評価
業務効率及び成果を意識した業務の推進	第3次行政改革基本方針に基づく取組の進捗管理及び職員提案制度を行うことにより、業務改善、事業費削減を図った。	計画より進んでいる
ワークライフバランスの推進	・令和7年10月1日より休憩時間の見直しに伴い、勤務時間を短縮した。 ・ゴールデンウィーク、夏季休暇、年末年始に合わせた連続休暇取得を促進することで、職員のモチベーション向上に努めた。	計画より進んでいる
子どもから高齢者まで全ての市民目線に立った行政運営	各種事業において、子どもから高齢者まで全ての市民目線に立った行政運営を心掛け、市民バスロケーションシステム導入による運行情報のリアルタイム化、証明書の郵送請求における手数料支払いのキャッシュレスサービス化など、デジタルを活用した市民サービス向上につながる取組を実施した。	計画より進んでいる
行政のDXの推進	・みやぎ電子申請サービスのオプション機能を活用した「ぴったりサービス」との連携可能な各種業務の調査や、公金収納におけるeLTAXの活用の検討を進めた。 ・AI、RPAの利用推進について、OCR機能を活用した事業を実施したほか、RPA活用に関する勉強会を実施した。	計画より進んでいる

基本方針 2 市民参画と協働の推進

まちづくりへ市民参画を促進し、市民、町内会、NPO、企業、大学など多様な主体と様々な分野での協働によるまちづくりを推進します。併せて、企業や大学等との連携協定を活用し、地域課題の解決に向けた取組を推進します。また、これらの取組を含め、市民にとっての有益な情報を積極的に発信し、情報の共有を図るとともに、対話と相互理解に努めます。

【主な取組状況】

項目	内容	評価
市広報紙・ホームページ・SNS等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの発信状況について、庁内で定期的に情報共有し、情報発信の更なる強化を図った。 ・市公式 LINE に、利用者が必要な情報を選択して受け取ることができる「受信設定」の機能を追加し、利便性向上を図った。 ・令和7年5月号より広報とみやの紙質・紙厚を見直し、コスト抑制を図った。 ・情報のバリアフリー化拡充のため、広報とみや音声版を継続するとともに、盲ろう者向けにテキスト情報の提供を開始した。 	計画より進んでいる

基本方針 3 持続可能な財政運営

社会保障関係経費や公共施設の老朽化に伴う経費の増加など、これまで以上に計画的な財政運営が必要になるため、コスト縮減及び費用対効果を意識した業務を推進し、財政支出の適正化を図るとともに、選択と集中による予算編成を行うことで健全な財政運営に努めます。また、自主財源を確保し、安定・自立した歳入の確保に努めるとともに、ふるさと納税・企業版ふるさと納税の充実や広告事業の実施など、新たな財源の確保に取り組みます。

【主な取組状況】

項目	内容	評価
財政支出の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次行政改革基本方針に基づき進捗管理を行うことにより、各課におけるコスト縮減及び費用対効果に対する意識向上を図った。 ・行政改革プロジェクト(歳入確保、歳出削減)に取り組み、全ての事務事業を総点検するなど、事務事業の経費削減や、内容の改善に取り組んだ。 	計画より進んでいる
ゼロカーボンシティの推進	ユートミヤの建物・設備の省エネ化、学校等のLED化を進め、公共施設等の省エネルギー化を推進した。	計画通り
債権管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・滞納整理強化月間の設定や各種徴収の取組を進め、税徴収率の維持に努めた。 ・税外債権徴収体制を整備し、税外債権の計画的、統一的な債権管理を進めた。 ・裁判による私債権回収手続きの知識向上を図った。 	計画通り